



宮崎県

みまた



表紙写真 / 三股町消防団辞令交付式

こんにちは

# 議会です。

よい人、よい町、よい政治。議員が編集した手づくり広報紙

87  
2017.5.15

3月定例会(3月3日~3月24日)  
町政を問う 一般質問(10名)  
シリーズ 寺柱サロン さくら

発行 / 三股町議会



# 議会の新体制決まる

## 12人の新役員が決定 新しい議長に池邊議員



池邊美紀 議長

この度、第28代議長に選任されました。身の引き締まる思いではありますが、その重職に情熱を持って邁進する所存です。町民の笑顔のために三股町発展のために、三股町に住んでよかったと思えるように、議員一丸となって敬愛される三股町議会を目指してまいります。

議会運営につきましても公平公正に対処し円滑に進めてまいります。三股町議会にご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



重久 邦仁 副議長

議会議員の皆様の選出により、副議長に就任いたしました。これもひとえに皆様のご支援のおかげであり、厚く御礼申し上げます。

三股町議会の円滑な運営の実現に誠心誠意努力をいたす覚悟でございます。

今後とも、なお一層のご支援ご教授を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、就任の挨拶にかえさせて頂きます。

### 議会運営委員会

議会運営に関すること、議会の諸規則に関すること、議長の諮問に関するについて審議または協議します。

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 楠原 更三 |
| 副委員長 | 重久 邦仁 |
| 委員   | 福永 廣文 |
| 委員   | 内村 立吉 |
| 委員   | 堀内 義郎 |
| 委員   | 福田 新一 |

### 一般会計予算・決算常任委員会

一般会計の予算及び決算に関することを審査します。

- |      |       |    |       |
|------|-------|----|-------|
| 委員長  | 堀内 義郎 | 委員 | 福永 廣文 |
| 副委員長 | 池田 克子 | 委員 | 内村 立吉 |
| 委員   | 桑畑 浩三 | 委員 | 福田 新一 |
| 委員   | 山中 則夫 | 委員 | 楠原 更三 |
| 委員   | 重久 邦仁 | 委員 | 森 正太郎 |
| 委員   | 指宿 秋廣 |    |       |

### 広報編集常任委員会

議会広報紙の編集及び発行に関することを担います。

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 福永 廣文 |
| 副委員長 | 楠原 更三 |
| 委員   | 山中 則夫 |
| 委員   | 指宿 秋廣 |

### 文教厚生常任委員会

福祉課、町民保健課及び教育委員会の所管に属する事項を審査します。



副委員長  
重久邦仁



委員長  
福田新一



委員  
福永廣文



委員  
指宿秋廣



委員  
森 正太郎



委員  
堀内義郎

### 総務産業常任委員会

総務課、企画商工課、税務財政課、都市整備課、農業振興課、環境水道課、会計課、議会事務局、選挙管理委員会及び農業委員会の所管に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項を審査します。



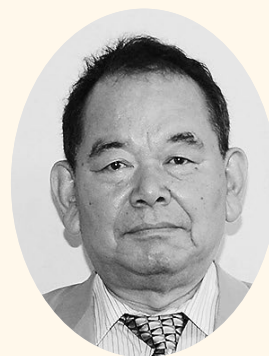
副委員長  
池田克子



委員長  
内村立吉



委員  
山中則夫



委員  
桑畑浩三

(議会選出監査委員)



委員  
楠原更三

# 平成29年度 新年度予算決まる



三股町の施政方針を説明する木佐貫町長

引き続き行政改革による経費の削減に取り組み、三股町総合計画後期基本計画、3ヶ年実施計画、公共施設等総合管理計画などに基づいた持続可能な中長期的視点に立った財政計画を策定し、財源の計画的・重点的な配分を行い、世代間の公平性を確保して行きます。

## 施政方針表明

## 3月定例会

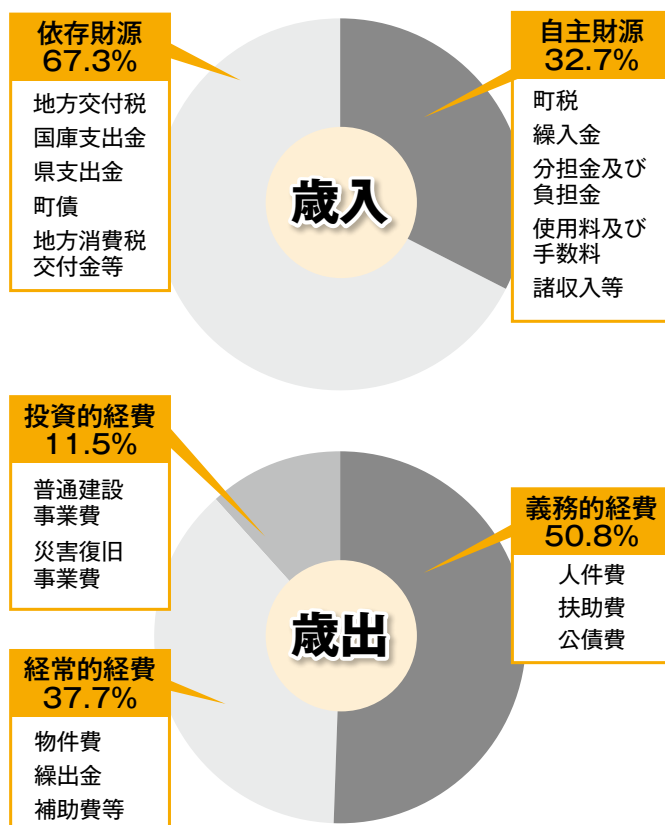
町議会では3月議会を、3月3日から24日までの22日間で開催した。今回の議会に上程された議案は29議案、意見書2件、報告1件で、各常任委員会にそれぞれの議案を付託し審議した。議案の主なものは、条例の改正に関する議案8議案、平成28年度三股町一般会計・特別会計補正の審査が5議案、平成29年度三股町一般会計予算審査・特別会計の審査9議案、指定管理者の指定について3議案などとなっている。請願第1号を除いて全ての議案が賛成多数及び全会一致で可決した。

## 平成29年度予算の総額

会計名	予算年度 平成29年度 予算額	対前年度比 (%)
一般会計	98億5千万円	5.9+
国民健康保険事業会計	35億4千11万1千円	1.2+
後期高齢者医療保険事業会計	2億6千878万9千円	10.6+
介護保険事業会計	22億1千210万2千円	2.5+
介護保険サービス事業会計	2,749万1千円	93.9+
梶山地区農業集落排水事業会計	4,652万9千円	△1.6-
宮村南部地区農業集落排水事業会計	3,721万6千円	0.5+
公共下水道事業会計	5億4千407万2千円	27.7+
特別会計合計	66億7631万円	3.9+
水道事業会計 (収益的収入)	4億1千986万1千円	△0.1-
全会計合計	169億4617万円	5.0+

※数値は切り捨ててあります。予算書の額と同じにはなりません。

## 一般会計の内訳



# こんな事業に取り組みます。クローズアップ



空き家等情報バンク活用  
促進事業  
241万5千円



三股町まち・ひと・しごと情報  
交流センター事業  
387万9千円



胃がんリスク検診事業  
247万6千円



任意予防接種助成事業  
ロタワクチン・おたふくかぜワクチン  
376万8千円



町営住宅等整備事業  
6億9,455万2千円



旭ヶ丘運動公園整備事業  
3,000万円

## 平成29年 第1回 3月定例会 表決結果

◎は賛成 ○は反対 一は欠席

※議長は可否同数の場合を除き、表決には加わりません。

議案番号	議案名	結果	森 正 太 郎	楠 原 更 三	福 田 新 一	池 邊 美 紀	堀 内 義 郎	内 村 立 吉	指 宿 秋 廣	重 久 邦 仁	池 田 克 子	山 中 則 夫	桑 畑 浩 三	福 永 廣 文
6号	三股町一般職の任期付職員の採用等に関する条例	可決	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	議長職のため表決には参加しない
17号	平成29年度三股町介護保険特別会計予算	可決	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	
請願 第1号	中小自営業者婦人・家族従業者の人権保障のため「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の採択を求めることについて	不採択	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	○	○	◎	

上記以外の議案第1号から第5号、第7号から第16号、第18号から第29号、意見書第1号、第2号については、全会一致のため未記載としております。

# 重久 邦仁 議員



質  
問

## 当初予算の重点施策事業は何か

町  
長

## 町営住宅の建て替え事業である

**問** これからの重点施策とは。

**町長** 平成29年度予算案として計上している重点施策は、「三股町総合計画後期基本計画」や、「まち・ひと・しごと総合戦略」をはじめ「アグレッシブタウン基本構想」や「福祉、教育、環境、防災など各分野の個別計画」をもとに、国や県の動向、議会や座談会でのご意見を参考にしながら、予算範囲内で単年度事業として、または年次的に取り組む事業として決定した。具体的には、町営住宅の建て替え事業、町づくり・子育て支援雇用・働く場の拡大、産業・モノづくりの振興、医療・福祉、環境、防災・減災、教育の情報化・学力の向上、交通インフラに係る事業など多岐にわたる。

**問** 重点施策の予算配分はどのようになっているのか。

**税務財政課長** 担当課では、課内での検討事業のほか、議会一般質問での提案事業地域からの要望などを踏まえ、より良い三股町を実現するために熱い要望が多く提案されているが、例年歳入予算額を数億上回っており、お金が不足している状況である。それを2ヶ月間かけて、歳入・

歳出予算を合わせる作業を行い、当初予算案を策定した。

**監査委員の常勤体制は**

**問** 以前は収入役があり、チェックする機能役割が存在していた。当町の監査委員の常勤は考えているか。

**総務課長** 現在、監査業務は適正に執行されていると考えており、常勤は考えていない。

**選挙法改正後の取り組み状況は**

**問** 平成28年参議院選挙の期日前投票所の結果は。

**選挙管理委員長**

役場	3772人
三股駅	92人
西部地区体育館	56人
第6地区分館	16人

**問** 投票率低下、選管の対策は。

**選挙管理委員長** 今後、期日前投票所の表示の方法や実施周知について検討していく。

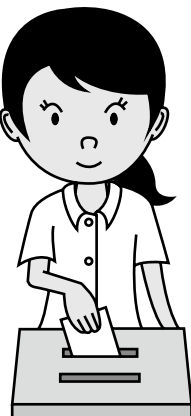
**問** わけもんの主張の感想は。

**選挙管理委員長** 昨年度都城東高等学校の生徒が発表して、優秀賞をいただいた。政治への関心、選挙に対する思いが伝わった。

**ホタルの発生地として環境水路整備を**

**問** 農業用水・排水路事業の整備について前目・勝岡地区を流れている山手幹線水路をホタル発生地として環境保護事業ができないか。

**産業振興課長** 未整備区間の多面的機能活動として、ビオトープ整備活動事業として取り組めないか検討する。





# 福田 新一 議員

質  
問

## 本町基幹産業である農業の将来像を

町  
長

## 鋭意農業振興に努める

問

農業従事者の高齢化や後継者不足が進むなか本町における農業の位置付けはいかに。

町長

農業を取り巻く環境は厳しいが、本町としてはJAをはじめ関係団体、機関と連携して町内の農業、農家、農地を守り育てることが、地域の発展、活性化、生活の向上に繋がるとの観点から鋭意農業振興に努める。

働きやすい環境づくりを

問

大型機械を考慮した農道整備が必要では。

産業振興課長

部分的な整備、緊急性を要する整備もだが、基盤整備を含めて、総合的な計画の中に農道整備を考えていく。

問

作業効率を考えた耕作地の見直し、畦畔除去への取組は。

産業振興課長

区画整備については県内外の整備事例、県経営指針を参考に30アール区画が妥当。

問

新しい農業形態を導く手段は。

産業振興課長

課題を解決する施策を企業、大学と農業者の現状課題を関連させ農業形態の将来像を模索することが重要。諸施策においては「産官学民」連携。3月15日、都城高専と包括連携協定を結ぶ。

空き家の現状と利活用を

問

現状の空き家状況と今後の見通しは。

町長

平成25年度の空き家調査では284戸の空き家存在。今後も居住者の高齢化等により空き家は町内全域で増加傾向にある。

問

本町に宿泊所がないという弱点を空き家活用で解消できないか。パノラマまらそんは町外から1200人の参加者。また旭ヶ丘運動公園利用者の合宿所に。スポーツ少年団の交流遠征の合宿所に。空き家を使い地域活性化できるので。

企画政策課長

一年を通した利用の見直し財源維持管理等課題も多く慎重

重に対応したい。

問

旭ヶ丘運動公園の合宿誘致計画と結果は。

2月1日～2月23日

韓国建国大学野球部

30人

2月14日～2月23日

ソウル中央高校野球部

31人

3月1日～3月6日

東京六大学理工系野球連盟

26人

3月7日～3月11日

青山学院大学軟式野球部

25人

今シーズン4チーム112人が野球場を利用。来年1月4日～2月25日予約済。

四季折々の変化を楽しめる上米公園魅力アップ

上米公園は様々な公園要素が揃っている。今後の取り組みは。

問

桜ゾーンの維持管理、東側年次の間伐と遊歩道の整備を実施、桜、もみじ等の植栽も計画していきたい。今年度遊具を新設し施設の充実を計る。樺山城趾は町の歴史探訪史跡として活用。

産業振興課長

桜ゾーンの維持管理、東側年次の間伐と遊歩道の整備を実施、桜、もみじ等の植栽も計画していきたい。今年度遊具を新設し施設の充実を計る。樺山城趾は町の歴史探訪史跡として活用。

## 堀内 義郎 議員



質問

総合戦略の進捗状況と今後をどう進めるのか

町長

予算の状況を見ながら計画的に取り組んで行きたい

問

まち・ひと・しごと創生総合戦略の4つの基本・数値目標について、進捗状況と今後の取り組みはどうか。

町長

平成27年度～平成31年度まで計画しており、現時点の数値は示すことは出来ない。具体的な28事業の内、今まで14の事業に取り組み三股町地方創生推進会議に諮り評価を頂いた。更なる拡充・強化が7、現状の継続6、改善見直し1の事業評価を受けた。今年度新たに6つの事業に取り組み20となり、未実施8つについても予算の状況を見ながら計画的に取り組んで行きたい。

問

特に「にぎわい」の創出を充実させるため、スポーツイベントにおいて宿泊施設を造るべきではないか。

企画政策課長

新たな施設を建設することは、多額の事業費や維持管理費等が大きな負担となり困難である。宿泊施設については民間の活用等を基本に考えている。

第11回全国和牛能力共進会への取り組みは

問

今年9月に宮城県で開催される第11回全国和牛能力共進会へ向けての取り組みと、防疫体制はどうか。

産業振興課長

防疫体制については、昨年3月、4月に発生した子牛の異常お産に伴う防疫として、部会でウイルスを媒介する蚊や蠅の駆除や消毒を行うよう本年度は予算化している。

町長

役場・農協・和牛研究グループ一体となって生産、育成の結果が出るように頑張っ行ってきたい。

上米公園の生活環境保全林の整備と活用を

問

上米公園内にある生活環境保全林の整備と活用を更にどう進めるのか。

都市整備課長

年次的に補助事業による間伐と、一部において遊歩道の整備を行っている。今後は、南九州大学の提案等を参考に植栽等を計画していきたい。

衛生センターの今後は

問

老朽化している衛生センターの方向性について、今後どう取り組むのか。

環境水道課長

法律に基づく精密機能検査において、構造物や機器類等は一般的な耐用年数に達しており、大幅な改造・改修工事等について検討する時期にきているとの診断を受けた。更に、基本構想と施設規模について総量は減少していくが、浄化槽汚泥割合は増加する傾向を踏まえ、施設形態として延命化と更新について提案された。本施設は都城市の一部の汚泥も処理しているため、これらを踏まえ今後は、都城市の意向や関係機関と協議を行い方向性を決定していきたい。







## 森 正太郎 議員

質  
問

コワーキングスペースを一定期間  
無料開放してはどうか

企画政策課長

実施することに問題はないが検  
討していきたい

問

2階コワーキングスペースは、有料であるということ自体が付加価値になっている。有料でも無料でも、快適で、作業しやすい環境を提供することが大切ではないか。付加価値を体験してもらったために、一定期間コワーキングスペースを無料開放してはどうか。

企画政策課長 3月中に設置できると考えている。

問

パンフレットやホームページ以前に、施設に看板がないことが大きな問題だと思いが、計画にあるか。

企画政策課長 パンフレット、ホームページが未作成など、周知不足が考えられる。

問

まち・ひと・しごと情報交流センターの利用状況はどうか。

町長 2月の利用は、1階情報交流スペースが144人、2階コワーキングスペースが2人で、利用者は少ない状況。

問

就学援助の入学準備金が支給されるのは、おおむね七月頃と伺っている。入学式に間に合うようにできないか。

教育課長 問題が十分把握できていないためわかりかねる。

町長 子ども子育て施策の中で、児童虐待対策や、ひとり親家庭、障がいのある子どもをもつ家庭へのきめ細かな支援を行っていくこととしている。現在実施している子どもの医療費助成も、子どもの貧困対策につながる具体的な施策のひとつと考えている。

問

県内での子どもの貧困に対する自治体単位での取り組みがひろがるなかで、本町ではどういった対策を取っていく方針か。

子どもの貧困対策について

※コワーキングスペースとは  
個々がアイデア・情報を共有しながら仕事をする場所

企画政策課長 一定期間は考えるが検討していきたい。

問

支援を考えている住民から、子どもの貧困の実態調査を行ってほしいという声が上がっている。日向市での『日向市子ども未来応援会議』では、貧困の実態に深く切り込んだアンケートの内容が検討されている。都城市では、国の交付金を利用した子どもの貧困実態調査の予算案が計上されている。本町でも、地域の特性に合わせた対策に取り組むうえで、子どもの貧困実態調査が必要と考えるがどうか。

福祉課長

アンケート調査の手法などの勉強をした上で、三股町にあった方法を検討したい。

問

本町でも、地域に支えられて子ども食堂を実施している団体がある。町として支援が考えられないか。

福祉課長

町がどういったかわり方をするのがいいか、今後の課題と考える。



## 池邊 美紀 議員

質  
問

### ふるさと納税激減の対策は

町  
長

### 他の自治体を参考に新年度見直しを行う

**問** ふるさと納税が3年間伸びを示したものの今年は激減しているようであるが、現状は。

**町長** 今年度1月までの状況は、寄付件数3425件、寄付額が1億548万円で、昨年度の同時期と比べ、件数で5219件、金額で7660万の減となっている。

**問** 件数が5千件を超える落ち込みとなっているのが問題である。平成27年開始の都農町は27年度7億円を超えるふるさと納税となっている。参考にしているか。

**企画政策課長** 事業者数を増やし、返礼品の種類の充実を図る。

**問** ふるさと納税の効果で、できた事業が町民や寄付者に対して周知不足だと思いが、今後どのように進めるのか。

**税務財政課長** 27年度ホームページや、くいまーるバス購入事業など28事業に活用している。今後町民や寄付者に対して事業効果を周知する。

まち・ひと・しごと情報交流センターの取り組みは

**問** 初心者向けセミナーなど施設を活かした人材育成を進めるべきだが、今後の方針は。

**町長** 現在、テレワーカー育成事業に取り組んでおり先進地である日南市と連携して進める。

**問** 現在、ライターしか対象にしていないが、デザイナー、クリエイター、SE、ネットショップ運営などにも広げるべきではないか。

**企画政策課長** 奮美大島ではフリーランス育成で成功しており、会社も立ち上がり、50人以上の移住者を目標にしている。日南市はクラウドソーシングで20万円以上稼ぐ人を10人育成の目標である。本町には数値的な目標はあるのか。

**企画政策課長** 主婦層を中心に毎年、初心者テレワーカーを15名、中級者を3人の育成を目標とする。これまでの状況から可能だと思っている。

産業の活性化は

**問** 6次産業化の取り組み状況は。

**町長** どぶろくや、ゴマを活用した

商品化に成功し販売しており東京・大阪・福岡の催事に出ている。28年度「みまたん地域ブランド発信事業」で東京の商談会で成果が出ている。プチベールの栽培定着を図り商品開発に取り組む。また藍染めについて問い合わせがある。

**問** 作物を作るのは上手いが売るのが苦手という声もある。今後6次産業化の対象者を発掘すべき。

**産業振興課長** ゴマなど今後生産量確保や転作なども含めた策を練る。

**問** 東京オリンピックを見据えて食の認証といわれるグローバルGAPやJGAP取得が必要になるといわれているが、認証取得にんんらかの補助がでないか。

**産業振興課長** まずは6次産業化を目指す事業主を対象に勉強会を設ける。

**問** 宮大ではJGAP指導員が100名以上出ているので、活用すべき。

**町長** 農産物輸出は県も力を入れているのでJGAPを今後研究して、宮大で進んでいるとのことなので検討していく。



## 池田 克子 議員

質  
問

### 「食品ロス」削減に積極的な取組を

環境水道課長

### ポスターやパンフの配布を行い回覧やホームページ等で啓発活動に努める

問

年間1700万トンの食品廃棄物が発生し、このうち約4割の642万トンが食べられるのに廃棄されている。いわゆる「食品ロス」だ。平成27年度、全国の小・中学給食で、子ども一人当たりの一年間の「食べ残し」が7.1kg、残食率は平均6.9%である。学校給食の残食の現状と取り組みは。

教育長

平成25年度をピークに年々減少し、28年度と比較すると52%の減となる。現在の残食量は一人当たり1.75kgで栄養教諭がメニューの工夫や食の大切さを指導している。

問

学校での食育、環境教育への取り組みは。

教育長

「食に関する指導の全体計画」を作成している。環境教育は「ゴミ問題」の学習など環境保全活動に取り組んでいる。

問

「残さず食べよう!30・10運動」を環境省が普及・啓発に力を入れている。当町での推進は。

環境水道課長

ごみ減量化検討委員会の中で自治公民館長に「30・10運

動」への啓発を依頼した。

問

全国の家庭で捨てられている食べ物をお金で換算すると11・1兆円になる。各家庭への「食品ロス」削減への啓発は。

環境水道課長

「食品ロス」削減についての啓発活動は実施なし。

問

農水省・厚労省が作成している「知っていますか食品の期限表示?」のパンフを配布しては。

環境水道課長

県の発行しているパンフは窓口にあるが、配布していない。今後検討したい。

問

賞味期限の過ぎた災害備蓄品の取り扱いはどうしているか。

総務課長

期限の到来する非常食については、毎年6月に実施している土砂災害の避難訓練時に調理の体験や試食用として配布している。

問

胃ガン健診を血液検査で

町長

胃ガン健診の推移を問う。

問

受診率の目標は10%以上となっているが率としては何%か。

町民保健課長

平成25年0.5%、平成26年0.9%、平成27年1.0%であった。

問

胃ガンの原因であるピロリ菌の検査を血液検査に変更できないか。

町長

平成29年度から胃ガンリスク検査として、血液検査によるピロリ菌抗体検査を血清ペプシノゲン検査を実施する予定である。

町民保健課長

対象者は40〜70歳までの5歳刻みの節目年齢に該当する人。(他条件有)実施期間は平成29年6月〜2月を予定。胃ガンリスク検査を単独で検査か又は特定健診と同時に検査を受けられるよう2つの方法で進める。

※30・10運動とは…この運動は、食品ロスを減らすための運動で「宴会開始から30分と閉宴10分前には席に座って食事を楽しみましょう」というものです。

# 楠原 更三 議員



質  
問

## パノラマまらその効果は

教育長

## 町の魅力発信と地域経済の活性化に寄与できた

問

今大会はどのような効果をもたらしたか。

教育長

総参加者数は応援者も含めると約2300人、経済波及効果は約2800万円。「三股の応援は熱い」「最高のおもてなしだった」等の多くの声を頂いた。町の新たな「にぎわい」の創出と継続的な経済効果や地域の活性化につなげていきたい。

節目を迎えるにあたっての今後の予定は

問

来年町制施行70年、翌年村制施行130年、翌々年は三股開拓150年となるが、町としての取り組みは。

町長

70周年以外は今のところ検討していないが、70周年記念事業での町史編纂の中で歴史を振り返る際に、今後の課題としていきたい。

企画政策課長

70周年については実行委員会でき々と協議している。新年度から記念事業等の周知と準備に取り組む。

問

梶山城跡の用地取得の現状と今後の予定。

教育課長

新年度は、18190㎡の用地を購入予定。国指定文化財に向けて事業を推進していきたい。

問

傷んだ標柱の取替、説明板の設置は。

教育課長

老朽化の進んだものについては早急に対策を取らなくてはならない。寺柱街道・梶山街道については、標柱と説明板の設置を検討している。

インバウンド推進事業の進捗状況は

産業振興課長

多言語観光HPが出来る次第、既設の案内看板にQRコードを追記したい。長田峡公園については、誘導看板の設置、モミジの植栽、歴史的造形物として石寺用水路等の概要を記した看板の設置や長田峡公園・矢ヶ淵公園それぞれに町内4つの窯元に依頼した河童のオブジェをその伝説を記した看板と共に設置する。

役場窓口での応対についての研修の実態は

総務課長

不安や心細さを感じて来庁される方も少なくはない。そのため、接遇や傾聴力は重要であると認識している。研修センターにおいて、能力開発研修の一環として接遇や傾聴力の研修を毎年実施している。参加した職員の復命書には、今後の町民サービスに活かしたいと考えている。

産学官連携の現状と今後の予定は

企画政策課長

今月15日に高専、17日に南九大と包括連携協定を締結する。今後は、宮大・南九大と過疎地域との交流を図り、新たな地域の魅力を発見・発信する事業について計画的に取り組む。今後は五本松団地跡地利用等、町の課題について企業の力を借りることを考えている。



## 山中 則夫議員

質  
問

「特色ある町づくり」と「町の均衡ある発展」をどう推進していくのか

町  
長

地域おこし協力隊や大学と連携して、長田・梶山地区を活性化させていきたい

問

人口が増加しているのは良い事ではあるが、均衡ある町の発展をどう実現していくのか。

町長

長田・梶山小学校地区の魅力を図り、過疎地域定住促進奨励金制度について、対象児童の拡充や、新たに子育てを支援する奨励金を設けるなど移住定住を促進していきたい。

問

長田・梶山・田上を含めた地に何か移住定住のための政策を具体的に考えているのか。

企画政策課長

長田・梶山・宮村地区において宅地の分譲や長田地区での貸家の増改築に奨励金制度を拡充して、移住定住を図っている。他の過疎地域からも要望があれば対処していきたい。これから過疎対策には、積極的に取り組んで町の均衡ある発展を図っていきたい。

問

長田・梶山小学校の生徒数の減を考えれば、行政としてスปีド感のある対策を考えるべきでは。

町長

保育園の充実、学校にスクールバスを運行させたり、又地域おこし協力隊とも協力して、長田・梶山

の魅力を発信していきたい。

問

他に町の均衡ある発展を図るための政策を考えているか。

町長

まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく蓼池団地造成事業や五本松団地跡地の活用など中央市街地活性化推進事業に計画的に取り組んでいく。

三股駅前整備を

問

駅舎・商工会館等に現在まで約3億円以上を使ってきたが、駅前は現在のままでいいのか。効果はあったのか。

町長

産業会館、駅舎の改築、駅前多目的広場の整備、駐車場の整備等に取り組んできた。よかもんやのオープン等、一定のにぎわい効果はあったと考える。駅前の整備、ハード事業は完了しており、今後はソフト事業に取り組む。

問

以前、駅裏と上新地区を結ぶ事業の話もあったが、現在の事業はどうなっているのか。

町長 上新地区方面との跨線橋については、J.Rと協議してきたが、多額の財源が必要であるので中断している。

施行70周年記念行事は

問

70周年記念行事はいつ、どういう事業を行うのか。

企画政策課長

式典は来年の11月3日の文化の日に行う。行事等については、現在職員で構成する「町政施行70周年行事実行委員会」で協議している。昭和36年に発行した三股町史については、現在70周年に合わせて編纂作業を行っている。



三股駅前付近

# 内村 立吉 議員



質  
問

相続未登記の農地の状況は

町  
長

2,064筆、177ヘクタールである

**問** 本町における相続未登記の農地の状況は。

**町長** 本町における農業振興地内の農業地は10849筆、1387ヘクタールで内、相続未登記地は2064筆、177ヘクタールである。

**問** 名義が不明確だと、売り買いや貸し借りが難しい。町としての対処はどのようにしているか。

**産業振興課長** 農業委員会の中で農地の売買、賃借等の相談があった場合、相続の未登記であることを指導、助言を行っている。

**問** 農業委員会の新制度に伴う定数は。

**産業振興課長** 農業委員6名、農地利用最適化推進委員10名である。

**問** 選考委員会の候補者の選定は。

**産業振興課長** 選定委員については、5月8日までに町長に報告し、6月議会に上程する。農地利用最適

化推進委員は、新たな農業委員のもと、会長が委嘱する予定である。

**問** 畜産センターの公共施設管理計画を策定する進捗状況は。

**産業振興課長** 本計画は2017年度から、2046年の30年間で3期にわたり計画を進めるものである。当センターは今後、関係団体の意見を繁榮しつつ、進めるものである。

**問** 上米公園の今後の位置づけは。

**都市整備課長** ①桜祭りが実施できるように維持管理していく。②東側の生活環境保全林については、遊歩道の整備を実施していく。③南九州大学からの提案等を参考に植栽等計画していきたい。④遊具コーナーにおいては、平成29年度から子供からお年寄りまで活用頂けるような健康遊具を設置予定である。⑤パークゴルフ場については利用増につなげたい。⑥樺山城跡については町の歴史探訪史跡として活用したい。

**問** 上米公園に通ずる道路について。(役場前線から東へ農道を経由し清流園側への経路)

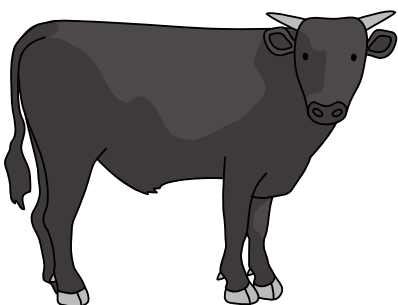
**都市整備課長** 隣接住民の意向を含め検討したい。

**町長** 住民の皆さんの意向を含めた上で、利用が増えるようであれば信号機の設置も考えていかなければならない。

**副町長** 慎重に検討した方がいいのではないか。

## 要望

○宮崎牛G1登録  
(日本を代表するブランド牛地理的表示)  
○第11回全国和牛能力共進会の1500キロメートル運送対策の取り組み強化



## 議員 廣秋 宿指



質問

教育費の拡充を

町長

教育費の予算は今後とも増えていくと考えている

問

平成28年12月議会会で、「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための平成29年度予算に係る意見書案」が否決された。

**教育長** 三股小は少人数指導2人、少人数学級1人。三股西小は少人数指導3人、少人数学級2人。三股中は少人数指導3人、少人数学級1人である。

問

県が少人数学級及び少人数指導のために配置しているのか。

**教育課長** 長田小2名、三股西小1名、三股中1名である。

問

この中で、複式学級の解除や少人数学級のために配置している人数は何人か。

**教育長** 本町は、人を育てるのには「人」が必要である。単独で複式学級の解消等を目的として予算計上している。

問

三股町単独教育費の現状はどうなっているのか。



長田小学校

**町長** 長田小には、複式学級解除のために教師を町の単独で配置している。また今年度から、梶山小と長田小にスクールバスを運転して、両校の質の改善を図っていく。教育費の予算は今後とも増えていくと考えている。

問

その反対理由が本会議場で発言された。議会の発言は自由です。意見書案の否決に異議を唱える意見は申し上げない。

この意見書と同様の意見書案は、平成27年6月議会では全会一致で可決されているが、平成28年12月議会の結果を受け多数の意見ということ、町長は今まで町単独の教育予算を削減することなく、三股町独自の予算増を行うべきか。

※少人数学級とは…

国が定めた上限以下の人数で構成される小・中学校の学級のこと。宮崎県では、平成29年度1学級の人数の上限を小学1年・2年生は30人、中学校1年生では35人とし、それ以外の学年は40人としている。

※少人数指導とは…

学習をする際に、児童・生徒が複数のグループに分かれ、それぞれのグループに指導者がつく指導方法の一つである。

※複式学級とは…

小・中学校において、2つ以上の学年の児童・生徒を1つに編成した学級のこと。

# 寺柱サロン さくら

お隣さん元気シリーズ



寺柱サロン代表  
児玉多可子さん

桜の花が咲く頃に立ち上げた「サロンさくら」では、住民の方々が気軽に参加できる住民主体の「居場所」にしたいと考えています。

足腰の悪い方や一人暮らしの方でも、体操などを通じて、身近な場所で参加でき、地域で見守っていく環境を作るきっかけになればと思います。



12月 そば打ち&そば作り

開催日時：水曜日 10：00～  
 ＊第1・第3水曜日：こけないからだ体操  
 ＊第2・第4水曜日：調理  
 開催場所：寺柱コミュニティセンター  
 今後の予定  
 4月：第1(水) こけない体操・お花見  
 5月：こけないからだ体操・調理  
 6月：こけないからだ体操・調理



住民の皆様から提供して頂いた季節の野菜で料理を作る様子



こけないからだ体操(第1・第3水曜日/10:00開催)

「サロン」とは……地域住民の閉じこもり防止や仲間づくり等を目的に身近な場所で気軽に集まり、おしゃべりなどで仲間と楽しく過ごせる地域の「憩いのたまり場」です。

サロンのお問い合わせは…  
 三股町社会福祉協議会  
 (三股町総合福祉センター『元気の杜』)  
 電話 (0986) 52-1246



議会広報編集常任委員会

発行責任者/福永 廣文

委員	委員	副委員長	委員長
福田 新一	重久 邦仁	堀内 義郎	内村 立吉

例年になく、今年の桜開花は遅れ気味。入学式に照準を合わせた模様。卒業から入学、入社と人生の節目の時を迎えられた家族も多いことだろう。本町役場執行部も、年度が替わり新しい体制を整え29年度がスタートした。

議会も新メンバーになり、折り返しの3年目に入る。心機一転の時。町民の代表として二元代表制の機能を、いかに発揮するか気合いが入る。

想定外が常識となった昨今、「大丈夫だろう」とかいう根拠のない先入観を一番恐れる。町民の幸せ、町の発展、そして各人の成長のために、今、何が大事か、何が必要か、判断基準をはっきりさせ、優先順を明確にし、行動する時である。

今後とも、議会の状況はじめ、町民が求める情報を正確に伝え、活きた広報誌として町政に参画していきたい。



## 編集後記